

飯館牛の血統「までい牛」

中学生、文化祭でPR

愛知

愛知県岡崎市の愛知教育

大付属岡崎中の文化祭は三日、同校で開かれ、飯館村の飯館牛の血統を受け継ぐ「までい牛」を使った焼き肉を販売し、魅力と安全性を発信した。

同校の二年生は社会科の授業で東京電力福島第一原発事故により被災した飯館村の状況を学習してきた。八月に生徒が村内を視察

し、関係者から現状や課題を聞いた。風評が根強いのを学び、村の安全・安心を伝えようと、までい牛の販売を決めた。

文化祭では、原発事故で村から千葉県に拠点を移した小林将男さんが成育した牛の焼き肉を提供した。生徒や来場者が味わい、までい牛のおいしさを実感した。県産モモの果汁を使ったジュースもPRした。

福島県を紹介するポスター掲示やパンフレットの配布も繰り広げた。



までい牛の焼き肉を販売する生徒